

磐城時報

編輯部 磐城石城郡平野町四丁目
印刷部 磐城石城郡平野町四丁目
發行部 磐城石城郡平野町四丁目
電話 一四四
廣告料 一行十四字 一月五拾圓
印刷料 一行十四字 一月五拾圓
日刊 (日曜、祭日、休日休刊)

質屋大越家を襲ひ 一家五人を殺傷

二名即死。三名は虫の息

強盜の所爲か。犯人不明

内郷村白水の慘劇

二十三日午後十一時頃から二十四日午前三時頃までの間内郷村大字白水字長槻内三十六番地質商大越五平(四三)方に強盜忍び入り家族五名を薪割様の手斧で負傷せしめ即死者二名、瀕死の重傷者三名を出した慘劇あり平検事局、平署から係官總出動で調査中であるが犯人未だ檢擧されず……。

鮮血に塗れて 目も當てられぬ慘狀

隱居家の老母が發見

二十四日午前五時二十分頃質屋に塗れて死んでゐるので度膽を業を長男大越五平(四三)に委せ抜かれ、ヨロ／＼して立ち出でてその裏に隠居住ひをしてゐる夫治七を呼び更には家の中に入り大越治七(五八)同人妻ハル(五)奥の間を見るとき五平(四三)妻ヒ五(五)の兩名は、五平方で常に早サ(三二)長男良平(十)はリツと起きであるのに夜が明けても戸同様前額部に重傷を負ひ真赤に血を閉けず、起きた形跡がないのなつて虫の息になつて居り、傍か、兎に角被害者が瀕死の状態を不審がりハルが表戸を開けてらには二男亨(三三)が同様鮮血で入りうとしたが閉かす、裏戸かに塗れて即死し、附近一帶四方ら入つて見ると店先きに寝て居る壁は三尺位の處まで飛び散りた五平の伯母大越リツ(五一)は鮮血で目も當てられぬ慘狀を細を知らず搜索上に少なからず布團の上に前額部を掛かれ鮮血呈してゐるのに驚き、かくと白困難を感じてゐる。

水巡査派出所松岡巡査に急報した。午前六時級部長派出所を経て、この報に接した平署では、病氣中の樫村平署長も床から飛び立ち、片寄、小倉各警部補、青田刑事部長以下各刑事、其他司法係りの巡査全部と共に急行平検事局からは小泉、高増兩檢事、和出書記以下書記四名を随へ、又宇留野豫審判事一行も同時に現場に急行し取調べを開始した。兎に角被害者が瀕死の状態を不審がりハルが表戸を開けてらには二男亨(三三)が同様鮮血で入りうとしたが閉かす、裏戸かに塗れて即死し、附近一帶四方ら入つて見ると店先きに寝て居る壁は三尺位の處まで飛び散りた五平の伯母大越リツ(五一)は鮮血で目も當てられぬ慘狀を細を知らず搜索上に少なからず布團の上に前額部を掛かれ鮮血呈してゐるのに驚き、かくと白困難を感じてゐる。

筆筒は破壊され 金庫も破らる

強盜の目的と判明

この慘劇を行つた犯人は、被害たもので、犯人は同家を逃れ、者全部が瀕死の重傷で意識不明のため、その着衣、人相等は確でないが、附近では消防手等犯人の數など全く不明であるが、犯人搜索應援のため出動二十四日午前中署員と共に附近山狩りを行つた等、過般の「兎熊」事件の如きもの騒ぎを演じた。

生命覺束なし 三名も

虫の息となつてゐる大越五平、妻ヒサ、長男良平の三名は入山した。石城郡内五十五の小學校卒業式は廿四日一齊に行はれたが、各小學校尋常科並に高等科卒業生にして那教育會から那賞を贈らるる生徒は左の百五十九名である。

郡賞を贈らる、人

郡内五十五校百五十九名

今宮正平、丹生勇、平第二三森道、鈴木静江、村上マサ、森文子、千葉ふみ、西野ハル、飯野小野正雄、村田クニ、夏井阿部ハル、鈴木ヒサ、高久大谷勝彦、矢吹吉平、豊間渡正雄、鈴木幸吉、江名遠藤親夫、吉田サダ、風間敬太郎、田村ヨシ、鹿島箱崎茂雄、鈴木彌平、小名濱野崎弘馬、上正、飛塚壽、小原竹之助、田口マツ、玉川小泉勝夫、箱崎利正、鷲崎尋高中野大三、笠井勝、吉田正、安積フジノ、鷲崎第一里見政雄、白坂ハツ、鷲崎第二蛭出兵衛、大井川勝代、湯本尋高佐藤儀市、仲治、鯨岡孝子、清水静雄、湯本尋中山三郎、宮本英子、内郷尋高原恵佐男、鈴木保治、高瀬登、近藤章、高橋シユン、沼田ヨシノ、内郷

附近の山狩り

大越五平方は鬱蒼たる樹木に隠された住居で鎮守の森の觀あり少し位の物音は他に洩れぬやうな所であるため裏に隠居してゐる質父治七等も全く知らず居

六ヶ年無欠席者

平第一小學校尋常科卒業生にして六ヶ年間無欠席者は左の十名である。

星山斌、水津彦雄、齋藤二郎、門傳正、荻野勝一、門馬一男、大内憲一郎、伊藤正平、國玉嘉輝、松本茂

店員大募集

十四才ヨリ十六才迄 五名

尋常小學校卒業以上

御希望ノ方ハ御來店願升

磐城平町三丁目

中野吳服店

電話六十七番

外事務員一名入用

簿記の心得ある人履歷書持参本人申出を乞ふ

植金田忠雄、神谷國友正一、中根幸雄、江島秀子、草野片寄榮造、柳井文子、新妻新三郎、渡邊スエ、大浦酒井勝平、箱崎マツヨ、佐藤馨、新妻喜六、四倉鈴木良平、門馬松子、阿部庫藏、遠藤キヨ子、鈴木美代子、大野尋高木村クニ、戸田義夫、西山ナヲ、大野平、二鈴木ウメ子、平濱江尻隆平、阿部サツ、阿部正、小川吉田榮延、渡邊テト、鈴木喜代長、川前純鶴雄、桶買宇佐見正美、菊多木田賢藏、山田定夫、下山ヒデ

炭礦川平坑から醫師を呼び應急手當中であるが何れも前額部を深き腦に達する程の重傷で生命は到底覺束ないと思はれてゐる。尚ほ即死したリツ、亨の二名は藤沼醫師等執刀の下に死体解剖を行つた結果死因は全く前額部の傷である事が判明した。

出生の割合は死産

平町の人口増率

伏見平町長の演説

平町長伏見彦衛氏は二十三日行なつた同村長蒞慶吉氏から金井はれた平町一町目石城産科婦科看護婦学校卒業式に臨み左の如き演説を行つた。

平町に於ける大正六年から大正十五年迄十一年間に於ける人口増加の模様を見るに、結婚者一組に對し出生二人の割合で十一年間の結婚者は二千七百七十七組、出生数は四千四百八十八である、この外死産は五百八十八の多き上つてゐるが、この死産は一ヶ年にすれば五十名出産の一割強は死産といふわけである、かうした現象は産婆の豫防的に妊婦を取扱へば或る程度まで少なくせ得ると信じてゐる、故に將來産婆たらんとする人はその職務が分娩時のみであると思ふ事なく産婆は妊娠から育児迄の役目であると思つて貰ひ度い。云々

春期特別大行

プロケラム

●日活秘寶大観劇團史
●新編 梁川庄八 卷六
●劇人河部五郎、尾上多見太郎、櫻木梅子方演
●松竹本年度作哀戀悲話
●八雲恵美子、小藤田正一、秋田伸一、共演

●山村 歸らぬ笛笛 卷七
●山村 今朝も藍色の夕が來た
●戀とも愛とも定まらぬ少年の吹く笛は……涙？

●古今未曾有の大剣戟血闘史
●阪東妻三郎一人二役大快心作
●中村吉松、中村政太郎、森静子、中村琴之助、春路謙作、泉春子共演

●秘史 亂闘の巷 全十六卷
●桃川の甘夢、鮮血の徳川幕府
●修羅の巻、武人の影に名を
●散つた勤王の志士、寅松の至誠報國丹心の血涙四笑である

●廿四日公開 平館
●廿四日公開 平館

●三井呉服店
●平町三丁目
●電話三十八番

驚いた!!!

こうまで安いとは
—加納活版所の印刷物!!

看護婦表彰

平看護婦會看護婦遠藤トメは昨年八月から本年三月十五日迄二百余日の久しきに亘り相馬郡福田村隔離病舎に雇はれ中精勵倦怠を覺へず親切に患者を取扱つ

投票用紙

「模擬平市會議員」

三九〇六票	高橋亀松氏	三六〇〇票	中野甲藏氏
三二七票	諸橋守次氏	二六五票	齋藤英三郎氏
二六五票	吉村安次郎氏	二五三票	白井一郎氏
二五三票	阿部政右衛門氏	二二七票	猪狩庄平氏
二二七票	井上貞次郎氏	二〇九票	山野東次郎氏
二〇九票	山野東次郎氏	一七〇票	山崎昌雄氏
一七〇票	山崎昌雄氏	一四七票	山崎清三郎氏
一四七票	山崎清三郎氏	一三三票	山崎清三郎氏
一三三票	山崎清三郎氏	一〇九票	山崎清三郎氏
一〇九票	山崎清三郎氏	八五票	山崎清三郎氏
八五票	山崎清三郎氏	七〇票	山崎清三郎氏
七〇票	山崎清三郎氏	六九票	山崎清三郎氏
六九票	山崎清三郎氏	六八票	山崎清三郎氏
六八票	山崎清三郎氏	六七票	山崎清三郎氏
六七票	山崎清三郎氏	六六票	山崎清三郎氏
六六票	山崎清三郎氏	六五票	山崎清三郎氏
六五票	山崎清三郎氏	六四票	山崎清三郎氏
六四票	山崎清三郎氏	六三票	山崎清三郎氏
六三票	山崎清三郎氏	六二票	山崎清三郎氏
六二票	山崎清三郎氏	六一票	山崎清三郎氏
六一票	山崎清三郎氏	六〇票	山崎清三郎氏
六〇票	山崎清三郎氏	五九票	山崎清三郎氏
五九票	山崎清三郎氏	五八票	山崎清三郎氏
五八票	山崎清三郎氏	五七票	山崎清三郎氏
五七票	山崎清三郎氏	五六票	山崎清三郎氏
五六票	山崎清三郎氏	五五票	山崎清三郎氏
五五票	山崎清三郎氏	五四票	山崎清三郎氏
五四票	山崎清三郎氏	五三票	山崎清三郎氏
五三票	山崎清三郎氏	五二票	山崎清三郎氏
五二票	山崎清三郎氏	五一票	山崎清三郎氏
五一票	山崎清三郎氏	四九票	山崎清三郎氏
四九票	山崎清三郎氏	四八票	山崎清三郎氏
四八票	山崎清三郎氏	四七票	山崎清三郎氏
四七票	山崎清三郎氏	四六票	山崎清三郎氏
四六票	山崎清三郎氏	四五票	山崎清三郎氏
四五票	山崎清三郎氏	四四票	山崎清三郎氏
四四票	山崎清三郎氏	四三票	山崎清三郎氏
四三票	山崎清三郎氏	四二票	山崎清三郎氏
四二票	山崎清三郎氏	四一票	山崎清三郎氏
四一票	山崎清三郎氏	四〇票	山崎清三郎氏
四〇票	山崎清三郎氏	三九票	山崎清三郎氏
三九票	山崎清三郎氏	三八票	山崎清三郎氏
三八票	山崎清三郎氏	三七票	山崎清三郎氏
三七票	山崎清三郎氏	三六票	山崎清三郎氏
三六票	山崎清三郎氏	三五票	山崎清三郎氏
三五票	山崎清三郎氏	三四票	山崎清三郎氏
三四票	山崎清三郎氏	三三票	山崎清三郎氏
三三票	山崎清三郎氏	三二票	山崎清三郎氏
三二票	山崎清三郎氏	三一票	山崎清三郎氏
三一票	山崎清三郎氏	三〇票	山崎清三郎氏
三〇票	山崎清三郎氏	二九票	山崎清三郎氏
二九票	山崎清三郎氏	二八票	山崎清三郎氏
二八票	山崎清三郎氏	二七票	山崎清三郎氏
二七票	山崎清三郎氏	二六票	山崎清三郎氏
二六票	山崎清三郎氏	二五票	山崎清三郎氏
二五票	山崎清三郎氏	二四票	山崎清三郎氏
二四票	山崎清三郎氏	二三票	山崎清三郎氏
二三票	山崎清三郎氏	二二票	山崎清三郎氏
二二票	山崎清三郎氏	二一票	山崎清三郎氏
二一票	山崎清三郎氏	二〇票	山崎清三郎氏
二〇票	山崎清三郎氏	一九票	山崎清三郎氏
一九票	山崎清三郎氏	一八票	山崎清三郎氏
一八票	山崎清三郎氏	一七票	山崎清三郎氏
一七票	山崎清三郎氏	一六票	山崎清三郎氏
一六票	山崎清三郎氏	一五票	山崎清三郎氏
一五票	山崎清三郎氏	一四票	山崎清三郎氏
一四票	山崎清三郎氏	一三票	山崎清三郎氏
一三票	山崎清三郎氏	一二票	山崎清三郎氏
一二票	山崎清三郎氏	一一票	山崎清三郎氏
一一票	山崎清三郎氏	一〇票	山崎清三郎氏
一〇票	山崎清三郎氏	九票	山崎清三郎氏
九票	山崎清三郎氏	八票	山崎清三郎氏
八票	山崎清三郎氏	七票	山崎清三郎氏
七票	山崎清三郎氏	六票	山崎清三郎氏
六票	山崎清三郎氏	五票	山崎清三郎氏
五票	山崎清三郎氏	四票	山崎清三郎氏
四票	山崎清三郎氏	三票	山崎清三郎氏
三票	山崎清三郎氏	二票	山崎清三郎氏
二票	山崎清三郎氏	一票	山崎清三郎氏
一票	山崎清三郎氏	〇票	山崎清三郎氏

昭和第一春の流行品

春のメリヤス

在庫品豊富

山家ヤスリ店

平町一丁目(電話六〇五番)

神戶海上運送火災保險會社 平代理店
東洋海上火災保險會社 共保生命保險株式會社

貸家案内 貸地案内
勤人向 八五〇 平町舊城跡、本九二ノ九
同 四、五〇 平町大切町、八幡小路
同 一四、〇〇 柳町、内郷村終停車場附近
同 二二、〇〇 同

加藤丈夫營業所

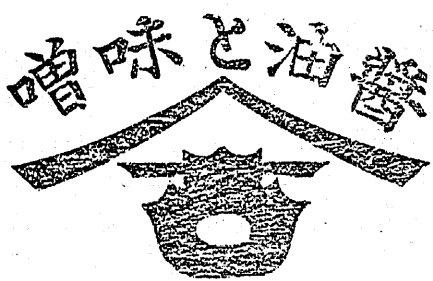
平町白銀町(電話三二番)

古來よりの支那六神丸 定價 一圓・二圓・五圓
眞正の六神丸として好評偉大

復方チアスターゼ錠

あらゆる胃散にて癒さる人々に直ちに服用を勧め

大販賣店 山野邊藥局 平町五丁目角



東京支店
上野車坂四三
電話下谷五七二番
振替東京六八三二番

山崎合名會社
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五番

第廿一回産婆生徒募集

一募集人員 若干名
一入學資格 高等小學卒業程度若ハ同等以上ノ學力ヲ有スル者
一修業年限 兩科通シテ一ケ年
一申込期間 本年三月三十一日

平町南町(電話三〇七番)

校長 清野キキ

生徒募集

高等女學部 五十名
師範部 五十名
技藝部 高等科 五十名
速成科 五十名

入學資格 小學卒業以上ノ學力アルモノ
高等女學部並ニ技藝部、高等科ハ尋常小學卒業以上ノ學力アルモノ
高等科卒業生ハ選考ノ上高等女學部ニ入學ヲ許ス

願書提出 三月三十一日限り

私立平陽實科女學校

私立志賀裁縫傳習所生徒募集

一般和服裁縫教授：普通科、速成科、研究科
マシン裁縫教授
作法折紙及ビ水引掛方教授：全數廿八種
手藝(盛繪手藝：クレージュ手藝)
レリース編物：其他種々
右何レモ短期ニテ習得セシム詳細規則書進呈
◎申込開始 三月卅一日マデ
◎授業開始 四月七日ヨリマデ
◎申込所 福島縣平町字紺屋町一三

志賀運動着販賣部
電話六四七番